



長崎青年協会会章
廿四文字
 我々は會員の団結と
 相互扶助の精神の基に
 自己の建設と
 會員の親睦を図り
 もって地域社会の発展に
 寄与する事を目的とする

NAGASAKI YOUNG GENERATION ASSOCIATION

社団法人長崎青年協会

スローガン 本気で語らい実行し、そして新たな歴史を創りだそう



上野彦馬



杉亨二

今月の行事

- | | | | |
|-----|---------|-----|----------------|
| 15日 | 理事会 | 21日 | 100% 夫婦同伴例会 |
| 17日 | ふうせんバレー | 29日 | ながさき
みなとまつり |
| | 審判研修会 | 30日 | |
| 19日 | 定例研修会 | 31日 | |

NYA press no.181
July 1994

創立/昭和44年3月1日 社団法人設立/昭和59年3月23日

7

発行 長崎市魚の町7-7
 (社)長崎青年協会
 会長 桑田啓伍
 編集 広報委員 会
 広報委員長 猿渡 卓

6月定例会開催

平成6年6月21日(火)
於 ホテルニュー長崎



◆会長あいさつ

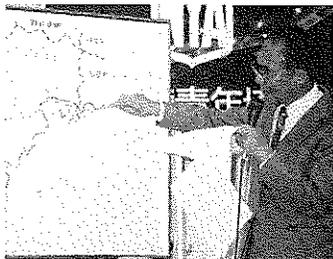
先日行われました厄入りお祓い、懇親会が皆様のおかげにより執り終了できたへんありがとうございました。

今月、長崎上海航路が復活しました。長崎はかつて日本において経済・文化の重要な拠点であったことを改めて思い起こされます。

青年協会におきましては、6月からいよいよ事業が始まります。今年はいままでにない新しい航路を残せるような活動をしていきたいと思っております。そのためには全員一人ひとりのご協力をお願いいたします。

◆講師講演

本日は、「我が町歴史散歩」の著者熊弘人先生に、「町名誕生の由来と歩み」と題して講演して頂きました。初めて長崎市に町が誕生したのは1571年のポルトガル船入港に際してであり、当時は今の万才町



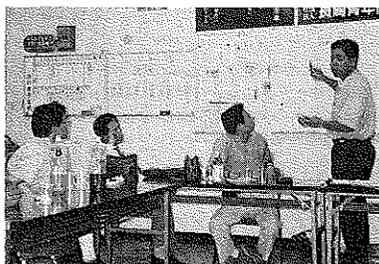
あたりにできたそうで6町からなっていたそうです。その後幕末までに80町に増えていった様子、そして明治、大正、昭和と現在381町になるまでを、図を示しながら詳しく教えて頂きました。それから町名の由来を初めて聞くことができ、また当時の状況や人々のことが思い起こされ、たいへん興味深い講演でした。

講演後は、委員会報告があり、地域事業委員会よりふうせんバレーで共催するドリームハートの大会実行委員長である出口恭一氏の紹介と出口氏による第2回ふうせんバレーボール長崎大会へ向けての挨拶がありました。



＜6月定例研修会＞

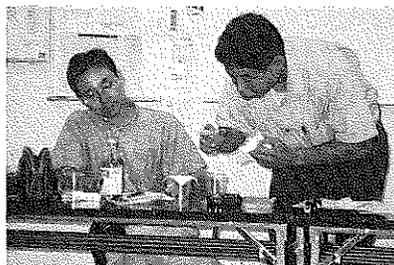
平成6年6月28日(火)
於 (社)長崎青年協会事務局



第3回定例研修会は、去る6月28日(火)、事務局にて行われました。6月の講師には、事業委員会の松島孝之君を迎え、テーマは、「一本の糸からファッションまで」と題し、今日のファッションのあり方を松島流解説で楽しい研修会となりました。

内容はと言うと、ファッションのベースには、かならず服が必要な要素となります。その服の分子的構成を成しているのが糸であると言う事です。それでは、その糸について勉強してみると糸は繊維の集まり、その繊維も自然界の物と人工的に作られた化学繊維があります。

自然界では、綿花、麻の植物性、蚕のまゆから作られる絹、羊毛などの動物性、そして化学繊維には、第一にズボンなどでよく見る一旦加熱処理すると型崩れしにくいポリエステル、これは産業用としても車のシート、テント、タイヤなどにも使われています。第二には、天然の羊毛に似ているアクリル、これは軽くて温かく染色性が高くぬいぐるみ、^{かぶ}髪、カーペット、カーテンによく利用されます。それに一番強い布地として利用されるナイロン。これは、宇宙服、人工芝、釣り糸などに使われています。このような材料で作られた服を私たちは、日頃着ているわけです。一本の糸から作られた服が私たち消費者のもとへたどり着くまでには幾重もの流通を経ますが、この流通の中から流行のファッションがファッションデザイナーの手によって作り出されてくるのです。皆さんも流行のファッションに流されるのではなく、自分で作り出したファッションを着こなして下さい。



心と心のふれあいは交流の始まり

'94『留学生と市民の集い』第1弾『語るう会』

去る6月26日(日)長崎市民会館7F中央青年の家(体育室)に於いて、長崎市、(財)長崎平和推進協会、(財)長崎青年協会主催『留学生と市民の集い』実行委員会の第1弾『語るう会』が開催されました。この日はバングラディッシュ・中国・東南アジア等の留学生47名と市民約50名、青年協会38名が参加しました。

開会宣言の後、桑田啓伍実行委員会委員長が「心を開いて語りあい、有意義な集いにしましょう」と挨拶。井上章君進行で午前中は山口丈司君のもとで座談会は進行開始。まず各班は10人編成とし、各班の班長から班員へと順番に自己紹介。次に伝言ゲーム(日本語を正しく伝えましょうというゲーム)を各班対抗で行なわれ、各班長は司会より聞いた伝言内容を班員へとリレー形式で伝えていきます。ゲームはその伝言内容が5・6人目からアンカーまでの伝言で内容がかなり変化したものとなり、アンカーの解答発表をする度に会場は笑いの渦となり楽しい交流となりました。

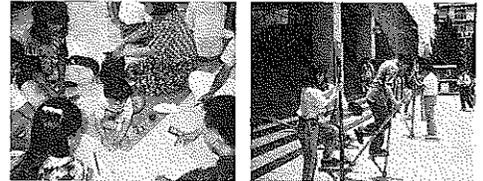


この後にはテーマ「世界の遊び」について各班毎にディスカッションを行ない、日本や留学生達の祖国の遊び(自国の幼い頃の遊び)にどのような遊びがあったかを語り合ってもらいました。日本の遊びには実際にけん玉やおはじき・ビー玉・竹とんぼ十二竹・あや取り等の遊び道具を用意し、その紹介を各班毎にしてもらい直に触れてもらいました。留学生達は、日本の遊び道具に酷似した物が祖国に有るらしく、その道具を用いて自分達の遊びを紹介又は遊戯棒(ユウシイバイ)・捉迷藏(ズミツアン)・コックファイティング等の遊びを絵に描いたり実際に行なったりと遊びに関する話題は後を立たず参加者達は盛り上がりを見せました。昼食は各班毎に弁当を食べ、食後の休憩時間には外で竹馬に乗ったりゴム跳びをしたりと楽しく過ごしました。

午後からは「ながさきみなとまつり」の紹介が有り原国際開発委員長の説明でパレードのVTRが流されました。また「世界の祭り」についてのディスカッションも行なわれ各班毎に語り合ってもらい、その内容の発表をしてもらいました。中国や日本の主な祭り等が発表されたり日中の祭りは似ている等の感想も有り皆、祖国の祭りを再認識している様でした。

この会の総評を長崎企画部文化国際課の多以良光善国際交流係長が「この集いの参加者は互いにこれから交流をしてもらい、この交流を広めたい。」と言われ7月30日のパレード及び青年協会の事業への助成参加の呼びかけをしました。また(財)長崎平和推進協会の前川智子国際交流部会会長は、「最初は最後ではないのでもっと交流を続けて行きたい」と述べられ、この後、第1弾『語るう会』は閉会となりました。参加者はお互いに連絡先等を教え合いこの日の別れを惜しむかの様に帰途へと着いている様でした。

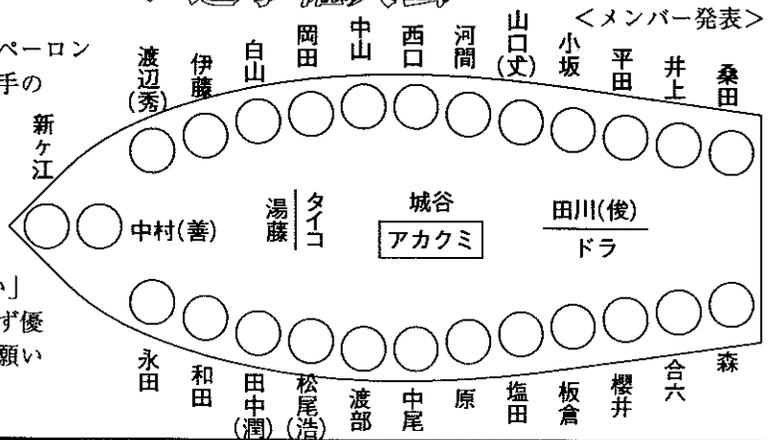
「留学生と市民の集い」第2弾は7月30日(土)に'94「ながさきみなとまつり」の実行委員会として、我々(財)長崎青年協会が留学生・一般市民・企業及び市町村のパレードで参加し、パレード終了後第3弾『留学生と市民の集い』懇親会をも開催しようというものです。「ながさきみなとまつり」へは、多数の人員も必要としますので会員の皆様是非参加し、協力の程をよろしくお願いいたします。



国際開発委員会
原 喜一郎委員長

必勝ながさきペーロン選手権大会

「ながさきみなとまつり」のペーロン大会も間近です。ここで出場選手の紹介を致します。日時は7月31日(日)、時間は予定ですが、11時30分、13時45分頃となるようです。では、合六団長より「こいで いかせる?」「決して一人でかかないで下さい」と一言ありました。当日は、必ず優勝です。皆も是非応援宜しくお願いします。



「語るう会」に参加して留学生からの一言



1班
劉 紅梅 リュウ コウバイさん
28才 中国出身 長崎大学
日本に来て3年目 一緒に話したり遊んだり(竹馬・ゴム跳び)するのが面白い。



2班
嚴 樺 ゲン カさん
?才(ヒミツ) 中国出身 長崎大学
日本に来て2年
日本料理を勉強したい。

3班

シャムさん
19才 マレーシア出身 長崎大学
面白い。遊びは似た物があるが実際にした事が無い。日本語は難しい。日本の女の子はキレイ?



4班

ング・ハーローさん
24才 マレーシア出身
長崎大学 日本に来て4年目
互いに、ゆっくり話が出来て良かった。



5班
孫 暁 ソン ショウさん
38才 中国出身 長崎大学
日本に来て3年目
毎回来ている。友達を作ったり出来て交流が深まり良いです。



6班
胡海 棠 コカイ トウさん
30才 中国出身 主婦
日本に来て1年
面白かったです。

7班

宋 振榮 ソウ シンエイさん
40才 中国出身 長大博士課程
日本に来て2年目
参加するのは3回目です。面白くて色々勉強でき新しい友達も出来る。



8班

夏 曉戒 カ ギョウジュウさん
御一家
32才 中国出身 長崎大学
日本の方と一緒に話せて良かった。
次も是非、参加したい。



9班
梁 逸敏 リョウ イツビスさん
20才 中国出身 医療技術短大
日本に来て1年2ヶ月
祭りや遊びについて話し合うのは初めて。他国の祭りに興味有り。



10班
張 慧敏 チョウ ケイビンさん
32才 中国出身 長崎大学
日本に来て3年。学問以外に人と人とのつき合いは学校の勉強よりもタメになる。

ながさきみなとまつり

日時：7月29日(金)・30日(土)・31日(日)
場所：松ヶ枝国際観光埠頭

“ながさきみなとまつり”も、間近になってまいりました。担当各委員会は、企画、準備に大忙しです。そこでまだ予定の部分もありますが、各イベント、企画内容をここに記載致しますので会員の皆さんもよく把握しといて下さい。

“ながさきみなとまつり”は、[ながさきまつり]・[バイフェスタイン・長崎]・[長崎ペーロン選手権大会]の3つのイベントを合体させたこれまでにない夏のビッグフェスティバルです。

7月29日(金)~31日(日)のイベントは下記の予定です。

7月29日[金]

- オープニング
- 民謡総踊り
- プロコンサート
(シャンシャンタイフーン)
- 長崎港水質検査クルーズ

7月30日[土]

- スポーツイベント
(ビーチバレー・3オン3バスケット)
- キャラクターショー
- カラオケ大会
- 長崎港クルーズ
- 各都市ミスパレード
- 企業パレード
- パフォーマンス審査会
- 会場花火大会

7月31日[日]

- 長崎ペーロン選手権大会
- スポーツイベント
(ビーチバレー・3オン3ドッジボール)
- 水柱彫刻
- 千人皿うどん
- 長崎港クルーズ
(フェイファン)

ベイフェスタゾーン担当 企画委員会

ネットワーク市民の会として、子供達を楽しめるようなゲームブースと、所属各団体の各アピールとしての展示ブースを、ネットワーク全団体協力のもとで、運営します。

青年協会の展示物としては、*「稲佐山シンボルボード」や「ふうせんパレー'93」の様子等を予定しています。

※(長崎市内が一望できる稲佐山の中腹に巨大シンボルボードを設置し、夜のライトアップ、祭事をイルミネーションでバックアップなどを行い、国際観光都市長崎のイメージアップを図るための新名所創りの企画です)

長崎港クルーズ担当 事業委員会

「飛帆」に乗って親子でふれあいながら、船上から見る長崎の港や史跡について学ぶ長崎港体験航海を行います。

日時および内容は、ナイトクルーズは、7月30日(土)、午後7時に長崎港を出港し、神の島沖で夕日見物、船上では、クイズ形式のゲームを行い、9時より船上から花火見物をします。翌日31日(日)は、デイクルーズを行い、午前9時長崎港出港、デッキ清掃、手旗信号を勉強し10時30分頃には、伊王島沖にて定置網の見学をします。11時30分に伊王島到着後伊王島の子供達と昼食、交流会を行い午後2時20分伊王島を出港し、途中船の上からペロン大会を見学しながら長崎港に着く予定です。

両クルーズにも参加希望者が多く、抽選を行い乗船者を選びました。



パレード担当 国際開発委員会

7月30日(土)に行われる市民パレードに留学生による世界の衣装で参加します。パレードのコースは、午後5時に第一勧業銀行前をスタート、観光通り文明堂前、ステラビル前、新地入口新地橋、新地湊公園、長崎税関前、市民病院前を通り松ヶ枝会場に着く予定です。

以上、3つのゾーンそして「みなとまつり」全体を運営するにあたり29~31日の間は、会員皆さんの協力が必要です。今後、各委員長より配属場所等の連絡がありますので、宜しくお願いします。

第2回 風に想いを……「ふうせんパレーボールふれあいinながさき」大会

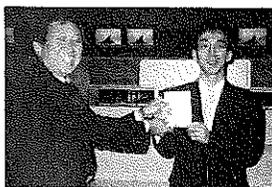
社会福祉の一環として昨年より行っています“ふうせんパレーボール大会”を本年は、8月20日(土)午前9時から午後4時まで、長崎県立総合体育館(メインアリーナ)にて行います。担当は地域事業委員会で、ドリームハートナガサキさんとの共同企画、準備会も数十回に渡る活動を行っています。7月3日(日)には青年協会内全体の審判研修を行い、現在、協会内のプロジェクト編成作業に取りかかっています。次回は7月17日(日)にハートセンターにて研修を行いますので、必ず研修を受けて下さい。

尚、8月7日(日)に、住吉、浜町アーケードにおいて、午後1時~4時まで街頭募金を行います。これにも出席のほど宜しくお願いします。

地域事業委員会

会員交流委員会主催

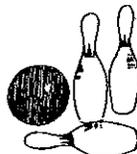
ボウリング懇親会開催される



6月21日、例会の後、長崎スポーツセンターに於いてボウリング懇親会が開催されました。賞品は個人賞と委員会対抗によるチーム賞が

あり、チーム賞は7月の例会時に発表の予定です。個人賞は下記のとおりです。

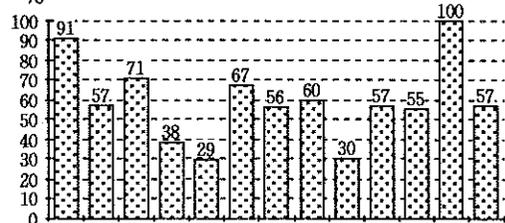
- 1位 田川清浩君 356ピン
2位 櫻井俊郎君 355ピン
3位 岡田康信君 321ピン
ブービー 池田佳央君 ??ピン



(2ゲームトータル)

7月は夫婦同伴例会です。多数の出席宜しくお願いします。

6月定時例会出席率



役総例広会交研国事企地新全
員務会報開流修開業画事人体

こんにちは！赤ちゃん 私が パパよ



パパ 岩満 克弥君

岩満 ^{リョウ}亮君 次男
6月7日(火)
AM 0時45分出産
2800g

3人目が生まれて、これ
からもしっかり気張り頑張
らなければいけないと思っ
たそうです。

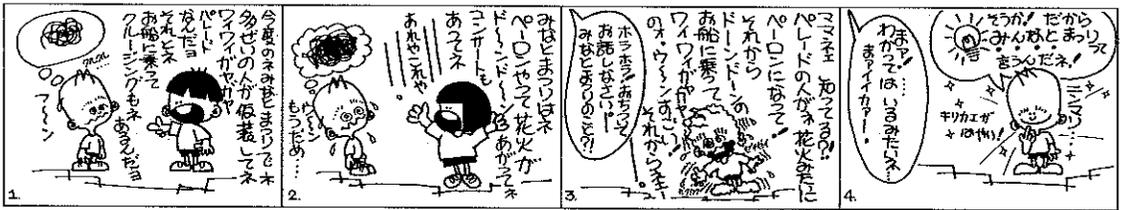


パパ 片江 豊君

片江 ^{アヤカ}文香ちゃん 第2子
6月21日(火)
PM10時19分出産
2960g

予定より4日早かった。
母子共々、無事に出産が出
来て良かったそうです。

おかしなBABY 6th. Online



● 甦れ！歴史人物100選 (表紙説明) ●

今回は、今月東山手の洋館群7棟の中にオープンする古写真資料館で、展示資料のメインになる上野彦馬と、わが国統計事業の基礎を築いた杉亨二をご紹介します。二人とも長崎生まれで、上野彦馬は写真の分野で、杉亨二は国勢調査等の統計の分野で先駆的役割をはたしました。

人物紹介

上野彦馬 (1838 天保9~1904 明治37)

御用時計師上野俊之丞の四男として銀屋町生まれた。医学伝習所でボンベに化学を学び、写真術を私人ロッシュに学んだ。維新の志士達を写真に残したほか、明治10年西南の役に従軍し、報道カメラマンとしても草分け的存在である。

写真協力：東京・上野一郎氏

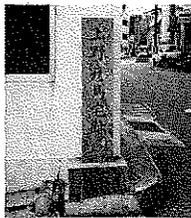
杉 亨二 (1826 天政11~1917 大正6)

本籠町で生まれ、生家は新地で酒の販売を営んでいた。祖父に教育を受けたあと江戸に出て、勝海舟の推薦で幕府筆頭老中阿部正弘に仕えた。維新後、民部省に出仕し統計事業の基礎を築いた。明治35年勲三等を受け、翌年法学博士となった。

ゆかりの地紹介

上野撮影局跡

伊勢町；中島川河畔に上野撮影局を開いた。ここには著名な維新の志士達も訪れた。現在は、菱興パーキング裏手に石碑が建っている。



杉 亨二胸像

県立図書館横；本籠町で生まれたとあるが、史跡等には残っていない。偉業を讃えた胸像が県立図書館横に建っている。



お詫びと訂正 4月号 伊川健太郎OB(誤)→井川憲太郎OB(正)

5月号 事業委員会、事業委員長(誤)→地域事業(正)

関係の皆様にお詫び申し上げます。